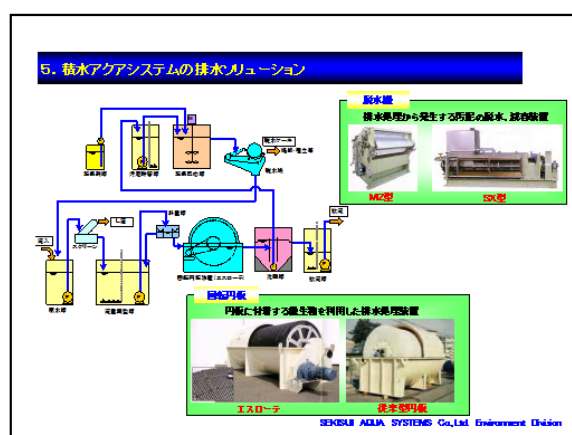
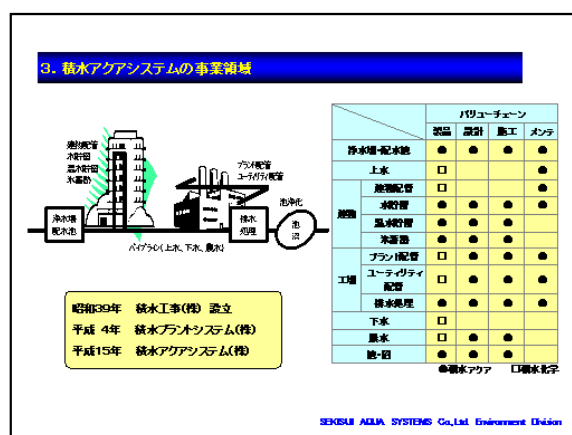


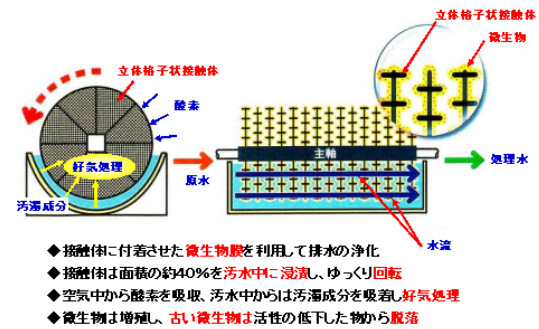


6. APEX 協との連携の経緯(その1)

- 1996年 APEX代表田中慶が当時勤務されていた会社の排水処理に当社の従来型回転円板が採用される
- ↓
- 1997年 APEX代表田中慶から当社に対して新型回転円板に関する共同開発の申し入れ
- ↓
- 共同開発契約締結(ノウハウ開示料・開発支援料・売上高に応じたロイヤルティを支払う)
- ↓
- 共同開発実施
- ↓
- 1999年 当社が『エスローテ』という商品名で販売開始
- ↓
- 積水アクアシステムの『エスローテ』販売実績 合計 174台

SEKISUI AQUA SYSTEMS Co., Ltd. Environment Division

7. 新型回転円板法の原理

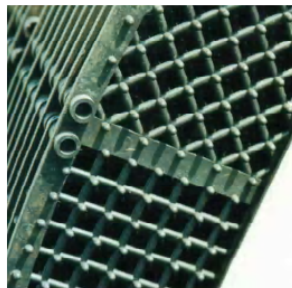


SEKISUI AQUA SYSTEMS Co., Ltd. Environment Division

8. 立体格子状接触体の特徴



大きな表面積
大きな酸素供給力
大きな接触効率
豊富な生物膜



9. APEX 協との連携の経緯(その2)

- 2000年～04年 APEX協がJICA「開発パートナー事業」に採択されインドネシアの排水処理適正技術の普及活動を実施
- ・『エスローテ』8箇所へ納入(病院、食品工場等)
- ・当社はディスクを販売し、ユニオは現地(ディアン・ディリ財団)で組立
- ↓
- 2004年 排水処理適正技術国際会議で『エスローテ』の事例発表
- ↓
- 2005年 国連開発計画プロジェクトで病院排水用5箇所納入
- ↓
- 2006年 『エスローテ』のインドネシアにおける本格的普及を図るために、両社が折半で金型の費用を負担し、ディスクの現地生産に着手
- ・06年1月～07年6月 7箇所へ納入

SEKISUI AQUA SYSTEMS Co., Ltd. Environment Division